

Progressive Baroque LIVE in Fukuoka 2023

Pコード: 2335178



Progressive Baroque LIVE in FUKUOKA 2023
— 17世紀イタリア新音楽とスペイン黄金世紀の深音楽 —

presented by Media Five Co.



古橋 潤一 | リコーダー



大坪 由香 | リコーダー



倉田 輝美 | ヴァイオリン



能登 伊津子 | オルガン



小貫 詠子 | チェロ



丹沢 広樹 | ヴァイオリン



HAMA | パーカッション

曲目

- ・ M.ウッチェリーニ : アリア第11番「カポラル シモン」
- ・ D.カステッロ : ソナタ第17番
- ・ 作者不詳 : ハカラ
- ・ J.カバニーリエス : ガリャルダス
- ・ F.C.de アラウホ : 二声の上声部のためのティエント etc.

2023
12/4月
ホテル日航福岡
新館3階「チャペルプリエール」

メディアファイブ株式会社

主な事業 : システム受託開発(SD)
システムエンジニアリングサービス(SES)
ITアウトソーシング OFFICE DOCTOR
プログラミングスクール TECH DREAM
福岡本社 : 福岡県福岡市中央区薬院1-1-1
薬院ビジネスガーデン6階
東京支店 : 東京都中央区銀座5-1-15
第一御幸ビル10階

Q-Board
証券コード: 3824



日時 2023年12月4日(月) 18時30分開場・19時00分開演

会場 ホテル日航福岡 新館3階「チャペルプリエール」
福岡県福岡市博多区博多駅前2-18-25

チケット 全席自由・前売: 3,500円 / 当日: 4,000円(学生: 2,000円)

主催 メディアファイブ株式会社 コンサート実行委員会

後援 福岡市 / (公財)福岡市文化芸術振興財団 / 新・福岡古楽音楽祭実行委員会

お問合せ 電話: 0120-262-242(担当: 中島) / Eメール: m5concert@media5.co.jp

特設サイト: <https://via.media5.co.jp/concert20231204/>



特設サイト

2023
12/4(月)
ホテル日航福岡
新館3階「チャペルブリエール」

Progressive Baroque LIVE in Fukuoka 2023

Progressive Baroque LIVE in FUKUOKA 2023
— 17世紀イタリア新音楽とスペイン黄金世紀の深音楽 —



特設サイト



古橋 潤一 | リコーダー

桐朋学園大学音楽部古楽器科卒業。第30回ブルージュ国際古楽コンクール入選。日本の主要古楽器アンサンブルのメンバーとして音楽祭、演奏会に出演。CDの録音にも多数参加している。17世紀イタリア・スペインの音楽を主に演奏するアンサンブル、メディオ・レジストロ主宰。また、その時代の楽譜の出版も手掛けている。CD『メディオ・レジストロ』『スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック』リリース。2017年にはスペイン大使館にて演奏会を開催し好評を博した。また、2023年には松竹制作の舞台「陰陽師 生なり姫」の音楽監督、編曲、演奏などをつとめ、活動の幅を広げている。桐朋学園大学古楽器科非常勤講師。



大坪 由香 | リコーダー

8歳より故・麻生純氏にリコーダーの指導を受ける。福岡県立修猷館高校、桐朋学園大学古楽器科(リコーダー専攻)卒業。同大学研究科修了。オランダのデン・ハーグ王立音楽院古楽科、アムステルダム古楽アカデミー、ユトレヒト音楽院にて学ぶ。現在福岡を拠点に、各地でリコーダーの演奏及び教授活動を行っている。ゆふいん音楽祭、おぐに古楽音楽祭、ロカルノ”管楽器コンサートシリーズ”(スイス)、福岡古楽音楽祭、響ホール室内合奏団「響のバロック」公演、新・福岡古楽音楽祭等出演。2006年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員(オランダ・ユトレヒト)。”FORDs福岡オープンリコーダーデイズ”音楽監督。フラウタ・デ・ピコ主宰。



丹沢 広樹 | ヴァイオリン

2000年より国内外で演奏、研鑽を積む。08年「Cembalism!!」の録音に参加、翌年NHK-FMに収録曲で生出演。同年「Sonar Cantando」での公演が月刊『音楽の友』誌にて「国内の年間コンサートベスト10」に選ばれ、2010、12年伊ブレーシャ国際音楽祭に招聘され演奏。12年よりピアソラ5重奏団を複数主宰。13年から鍵盤奏者の杉本周介とハケ岳を拠点に古楽プロジェクトを続ける。2019年、宗教大作『Membra Jesu Nostrum』をAOIで手掛ける。ジャンルを問わずレコーディング、公演に参加。現在、クラシック音楽史500年を弦楽器奏者の目線で紐解く「Vi-ba」を進行中。



倉田 輝美 | ヴァイオリン

桐朋学園大学卒業。読売新人音楽賞受賞。東京・名古屋にて推薦新人演奏会に出演。モーツァルト音楽院アカデミーにてJ.J.カントロフ氏に師事しディプロマ取得。その後米国で活動し、福岡県に移住。バロック・ヴァイオリンでは、新・福岡古楽祭にてシギス・クイケン氏をはじめ著名な奏者のマスター・クラスを受講し、古楽祭をはじめ各地の公演に出演。現在、響ホール室内合奏団メンバー、コンセル・エクラン福岡古楽メンバー、古楽/ほんぐらメンバー、筑豊フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター。



小貫 詠子 | チェロ

都立芸術高等学校を経て東京藝術大学卒業。同大学大学院修士課程修了。(旧)ドイツ国立アウグスブルグ・ニュルンベルグ音楽大学卒業。室内楽に於いて松尾音楽奨励賞、リゾナーレ音楽祭にてマイカル賞授与。オホーツク音楽祭、湯布院音楽祭に出演。大竹しのぶ主演の舞台「エディット・ピアフ」のチェロを担当。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科(チェロ専攻)非常勤講師。パンベルク東京カルテット、フィオーリカルテットのメンバー。



能登 伊津子 | オルガン

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。グレゴリオ音楽院オルガン本科、専攻科卒業。オルガンを鈴木雅明、岩崎真実子の各氏に師事。1994年白川イタリアオルガン音楽アカデミーに於いてピストイア賞受賞、翌年イタリアピストイアオルガン音楽アカデミーに招待される。同アカデミーに於てL.F.タリアーニ、J.L.ウリオールの各氏に師事。1998年スペイン政府より奨学金を得てダローカ国際古楽アカデミーに参加。オルガン、チェンバロ奏者として、数多くの演奏会に出演している。初期イタリア、スペインバロックをレパートリーとするアンサンブル『メディオ・レジストロ』のメンバー。CD『メディオ・レジストロ』『スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック』(レコード芸術誌 準特選盤)をリリース。



HAMA | パーカッション

バリ・ガムラン、アラブ・パーカッション奏者。「滞空時間」「SAICOBAB」「スーパージンギスカンズ」「サンミツ」などで活躍中。杉原邦生演出の舞台「血の婚礼」、NODA・MAP第22回公演「賈作 桜の森の満開の下」劇中曲への参加や、劇団四季ミュージカル「南十字星」のガムラン演奏指導及び楽曲アレンジなど、舞台芸術への参加も多い。民族音楽や古典という枠にとらわれず様々なジャンルで活動し、高い評価を得ている。

予告 — MediaFive presents バロック音楽の夜 vol.1 —

2024年6月6日(木)、福岡市の「あいれふホール」において、メディアファイブ株式会社が提供するコンサートの開催が決定しました！古橋 潤一(リコーダー)、ジュゴンボーイズの山本 徹(バロックチェロ)と根本 卓也(チェンバロ)、上野 英理也[桐朋学園大学音楽学部CD(カレッジ・ディプロマ)コース古楽器専攻(リコーダー)3年]などの出演を予定しています。

Next
2024
6/6